

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して、指導訓練室等のスペースが31.88㎡あり、基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員等、常時5～8人の職員を配置している。
	③	事業所設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	施設の構造上難しいが、一軒家の特性を生かした保育に力を入れている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全ての職員で日々のふり返りをし、支援の方法や手立てを職員間で話し合い検討している。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表参考に、職員間で課題を共有し、改善に向け検討している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者による評価を分析し、改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・グループ内、施設内、外部を問わず研修の場に参加している。 ・2020年度：2名が強度行動障害研修を受講した。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡帳・送迎時・電話等により保護者との連絡を密に、また、児童の様子や保育ノートを活用しつつ、アセスメントシートを作成し個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			木子里グループ独自のアセスメントシートを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			節句の行事や季節に応じた活動を推進している。また、家族や児童の希望も含め活動の立案に当たっている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			児童が意欲的に楽しく活動に参加できるように、新たな行事をバランスよく取り入れる工夫をしている。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		学校登校日と休校日の利用時間等を考慮して屋内外の活動をきめ細かに計画している。また、児童の課題やと目標設定に柔軟に対応できるようスタッフ間の情報共有を図っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個人の課題に目標と手立てを計画するとともに、全員がグループ活動に参加できるように支援している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・管理者及び児童発達支援管理責任者が一日の活動及び送迎の確認をしている。 ・支援前には非常勤スタッフを含め全員で
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		・個人記録ノートを記入し、業務終了後に非常勤を含めて振り返りを行い、重要なこと等は、保育ノートに記録している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人ノートに記録し、振り返りや検証を行いつつ以後の計画・支援の在り方を検討している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的には、児童の成長や新たな課題について、職員間で検討し、内容の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		自立支援につながる緒活動を組み合わせ計画している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		今年度はコロナ禍で実績はないが、管理者・児童発達支援責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在該当者はいないが、必要時は体制を整えることができる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		新1年生の情報交換を保育園と行った。また、相談事業所ハートとは常に連携し、情報を共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者、グループ及び自社相談事業所と情報交換を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送り時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有している。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に対応できるように連絡ノート及び口頭報告の機会を設けている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			今年度はコロナの影響で少ないが、面談や電話相談等を行っている。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			速やかに対応している。
	③⑭	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月『KIKKORI通信』を発行し、毎月の予定のお知らせと保育報告を行っている。中高生プログラムなどの特別活動について、その都度実施の目的や行動予定の詳細を知らせしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭や書面にて、互いが理解できるように工夫している。
非常時の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			現在、契約時に説明しているが、定期的にお知らせをすることが今後の課題である。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○			災害用糧食を準備するとともに、月に1回のペースで災害に対する各種訓練を実施した。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			管理者が事業所内職員に定期的実施している。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			がくどう舎の身体拘束対応規定に基づき対応している。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書については保護者を介してもらっている。

④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット記録簿を設け、職員間で情報共有するとともに、今後の対策等の検討も行っている。
---	----------------------------	---	--	--